

2013年11月11日

各位

アプリックスIPホールディングス株式会社  
(コード番号:3727 東証マザーズ)

## アプリックスIPホールディングス

### iPhone や Android 端末に対応した Beacon モジュールを単価 300 円で販売開始 ～ iOS7 の新機能 iBeacon と Android の両方に利用可能なソリューションを提供 ～

アプリックスIPホールディングス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:郡山龍、以下「アプリックス」)は、iOS 7の新機能 iBeacon や Android OS<sup>®</sup>からも利用可能な Beacon モジュールの販売を開始したことを発表いたします。

このたび、アプリックスが販売を開始した Beacon モジュールは、既に量産出荷が始まっているセキュリティ機能を強化し、健康機器や住宅設備等をスマートフォンに安全に繋げることができる Bluetooth<sup>®</sup> Low Energy モジュール「Zeemote JM1-L2S」と同じ部品で作ることにより安価での提供が可能となり、大量に使用する位置情報サービスや、小売店網等での情報管理、クーポン発行やポイント付与等による商品の販促等でご利用いただけます。

アプリックスの Beacon モジュールは、単価 300 円で提供するモジュール単体(基板タイプ)のほか、電池交換なしで 10 年動作する乾電池内蔵タイプと、薄型でマグネット等で壁に貼れるボタン電池タイプを単価 500 円程度で提供いたします(電池の種類やケースの仕様等により値段が多少変わります)。さらに利用促進に向けて、開発者がアプリケーションやサービスの開発をすぐに始められるよう、Beacon モジュールを 10 個セットにした試作開発キットを 10,000 円で提供いたします。(提供価格はすべて消費税・送料別)。

アプリックスの Beacon モジュールは「置くだけ」・「貼るだけ」で導入することが可能です。また、導入後もスマートフォンから再設定が可能のため、フレキシビリティの高いシステムを実現できます。例えば、設置後、実際にスマートフォンから電波強度を計測して調整できるので、設置箇所の電波環境に合わせて最適に調整することが可能です。「十分近付いているのにスマートフォンがビーコンを感知しない」などのストレスを軽減できます。さらに、スマートフォンから安全・簡単にビーコン情報を書き換えることができるので、店舗内の配置換え等の際、簡単に再設定が可能です。これはアプリックスの Beacon モジュールがセキュリティ強化版 Bluetooth Low Energy モジュール「Zeemote JM1-L2S」の技術を応用して開発されているため、権限設定で安全な運用が可能となりました。ユーザーのレベル毎にビーコン情報の書き換えに関する権限設定ができ、意図しないスマートフォンアプリケーションからのアクセスや、第三者によるデータの書き換えを防ぐことができます。

今回販売を開始した Beacon モジュールは、ビーコン情報を管理するためのセキュリティソリューションと合わせて、既に北米および欧州のお客様で導入の検討が始まっており、価格競争力の高いハードウェアと付加価値の高いソフトウェア技術を融合したビジネスモデルとして、当社の今後の成長ドライバーになると期待しております。

#### ■ アプリックスが開発した「Beacon モジュール」画像:



左画像が、小指先大の超小型「Beacon モジュール」。

- 本製品に関するお問い合わせ先：  
株式会社アプリックス M2M 製品グループ  
E-mail: [m2m-group@aplix.co.jp](mailto:m2m-group@aplix.co.jp) TEL: 050-3786-1702

→ Beacon モジュールのカタログ資料はこちらをご覧ください。

- ※ Android 端末向けには、Beacon 用 SDK を無償提供する予定です。
- ※ 日本電波法技術基準適合証明、その他各地域の認証取得済み。
- ※ Aplix の Beacon モジュールは、設定アプリを使ってお客様が指定した「Bluetooth Smart の ADVERTISING AND SCAN RESPONSE DATA FORMAT に合致するデータ」と「Bluetooth Smart の Advertising Interval として認められている間隔」に基づき、無線信号で送ります。
- ※ BM1 試作開発キット(単 3 乾電池タイプ)に含まれている Beacon モジュールには、購入して直ぐ動作確認ができるよう、iOS 7 Core Location フレームワークを使って作ったアプリケーションが受信できるデータが設定されています。
- ※ 出荷時にそれぞれの Beacon モジュールに個別の Beacon のデータを設定することも可能です。また、まとめて Beacon のデータの書き換えや管理ができるツールも用意していく予定です。詳しくは担当営業にご相談ください。

以上

## ■ アプリックスIPホールディングス株式会社について

アプリックスIPホールディングスグループは、ソフトウェアテクノロジーによって世界中の人々がより充実した生活を楽しめるようにすることを使命として事業を営んでおります。ソフトウェア基盤技術事業においては、携帯電話やパーソナルコンピュータ等の民生用電子機器に向け優れたソフトウェア技術の研究開発・販売、さらにはM2M市場に向けた革新的な技術やサービスを提供する一方で、コンテンツ・サービス等事業においては、出版事業や映像事業を中心に、自社IPを最大限に活用する総合エンターテインメントを展開しております。2013年4月1日付を以ちまして、当社商号を「アプリックスIPホールディングス」に変更いたしました。これを機に、当社グループの原点に立ち戻り、国内外で知名度の高い「Aplix」のブランド名をグループの名称に再び冠し、高度な技術を以ってして企業価値の向上と収益の増大を目指してまいります。

アプリックスIPホールディングスのwebsite(投資家情報等):<http://www.aplix-ip.com/>

アプリックスグループのwebsite(エンタメ情報等):<http://www.aplix-group.com/>

- 本件に関するお問い合わせ先: アプリックスIPホールディングス株式会社 IR 担当 E-mail:[ir-info@aplix-ip.com](mailto:ir-info@aplix-ip.com)

- ※ 記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- ※ 本プレスリリースに当初掲載しました画像のモジュールは、当該 Bacon 用のモジュールとは異なっていたため、正しい画像と差し替えさせていただきます。お詫びとともに訂正させていただきます。